

## 土木建設・建築に必要とされるさまざまな製品を 顧客の要望に応じて省力化とローコストで提供

同社は、1973年にネジの販売を目的として設立し、販売から製造へと拡充し、土木建設・建築に必要とされるさまざまな製品を顧客の要望に応じて省力化を図り、ローコストで提供している。2014年には、鉄筋を斜めに交わらせて製造するパネルのプレキャスト化を実現し、現場の鉄筋工の作業の大部分の省力化を可能とした、国内初の連続鉄筋コンクリート舗装向けの鉄筋敷設工法「FKメッシュパネル工法」を開発し、全国の道路工事に導入が進んでいる。2018年には、「地域未来牽引企業」に選定されている。

所在地	広島県広島市中区江波南二丁目10-6	設立	1973年
電話/FAX	082-292-6321/082-295-7058	資本金	1,000万円
URL	<a href="http://www.fujisaki-shokai.co.jp/index.html">http://www.fujisaki-shokai.co.jp/index.html</a>	従業員数	43人
代表者	代表取締役社長 藤崎 和彦		



### 国内初のコンクリート舗装向け鉄筋敷設工法「FKメッシュパネル工法」

従来のコンクリート舗装では、鉄筋工が現場に鉄筋を搬入後、一本ずつ等間隔に配筋し、交差部分を人力で結束していたが、「FKメッシュパネル工法」は、鉄筋を斜めに交わらせて製造するパネルをプレキャスト化（交差箇所のスポット溶接化）することで作業の大部分の省力化を実現（工程が1/6～1/9に短縮）し労働生産性を向上させた。また、メッシュパネルは、縦の主筋と横筋の編目結合部分に斜角約60度に配置し斜交状を採用し、コンクリートの経年劣化に伴う道路のひび割れ抑制を図ったのが特徴である。



FKメッシュパネル工法

### 国土交通省の新技术情報提供システム「NETIS」登録による信頼性

国は道路舗装におけるコンクリート舗装の割合を増加させている。同社の納入先は公共工事の案件が多く、新工法の採用には消極的なことが多い。これを打破すべく、「FKメッシュパネル工法」の各種試験や採用実績を積み重ねることにより、2016年9月に国土交通省の新技术情報システム「NETIS」へ登録（登録番号:CG-160007-VE）された。この結果、公共工事へスムーズに導入が進んだ。また、同工法による関連特許登録や商標登録を行い、同業他社が容易に参入できないよう対策をしている。



NETIS登録による信頼性

### 産学連携による「FKメッシュパネル工法」の開発

同社では、山口大学と2015年12月から「FKメッシュパネル」の品質面におけるバックデータづくり（従来工法との性能比較の実証）に取り組み、従来工法と同等以上の品質を有することを示した。この成果を受け、土木学会中国支部第70回・第71回研究発表会での論文発表、2018年7月ドイツでの「第13回コンクリート道路国際シンポジウム」のポスターセッション参加、および2021年9月アメリカでの「第12回コンクリート舗装国際会議（ICCP）」における成果発表を行った。



FKメッシュパネル工法（産学連携）